

平成29年度市原市一般会計及び特別・企業会計予算案(骨子)について

**一般会計の予算規模、大型事業の完了で前年度比0.8%減、  
 5年ぶりのマイナス予算となるものの、規模は過去2番目  
 総合計画スタートに向けた積極予算**

平成29年度一般会計予算は、総合計画の初年度であり、今後の成果に影響を与え、市原市の未来の鍵を握る予算となることから、重点化施策に積極的な財源配分を行いました。その結果、大型事業の完了などの減要因がある中で、過去2番目の規模となりました。

その一方、財政調整基金取り崩しの抑制や市債発行額の抑制で将来負担を減少させるなど、施策推進と持続可能な財政運営の両立が図られた予算となりました。

※以下、予算額の表示単位未満は四捨五入、( )内は対前年度比

**I 予算規模**

○一般会計	907億3,000万円	(△7.0億円、0.8%減)
○特別会計	642億4,870万円	(+1.5億円、0.2%増)
○公営企業会計	45億1,780万円	(△2.5億円、5.3%減)
○総予算額	1,594億9,650万円	(△8.0億円、0.5%減)

**II 一般会計**

**1 歳入**

- ① 市税の増 +4.3億円(+0.9%)  
家屋の新增築の増に伴う固定資産税の増など
- ② 普通交付税及び臨時財政対策債の皆増 +2.0億円(皆増)  
普通交付税+0.5億円、臨時財政対策債+1.5億円
- ③ 市債の減 △5.4億円(△9.8%)  
福増クリーンセンター第二工場基幹改良事業の完了など

**2 歳出**

- ① 義務的経費の増 +0.1億円(+0.0%)  
扶助費+1.1億円、公債費△0.9億円 など
- ② 繰出金の増 +6.0億円(+6.2%)  
国民健康保険事業特別会計繰出金+3.4億円 など
- ③ 普通建設事業費の減 △12.2億円(△11.5%)  
福増クリーンセンター第二工場基幹改良事業△14.0億円 など

**3 財源対策**

- 財政調整基金の取崩し 10.0億円(△1.2億円 残高は前年同時期以上を確保)
- 特定目的基金の活用 7.1億円(公共施設整備基金 3.0億円など)
- 有利な財源を最大限活用 29.1億円(元利償還金を地方交付税措置など)

**III 重点施策**

次の3つの重点施策に財源を重点配分

- ① 市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策 1,014百万円
- ② ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策 1,633百万円
- ③ ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策 10,954百万円

## 1. 一般会計の予算規模

### (1) 一般会計予算規模

- 一般会計予算 907億3千万円 (△7億円、△0.8%)  
5年ぶりのマイナス予算で、過去最大であった昨年度に次ぐ過去2番目の規模

• 主な要因：

- ▶ 福増クリーンセンター第二工場基幹改良事業の完了 △14.0億円
- ▶ 消防庁舎耐震改修事業の完了 △5.2億円
- ▶ 福増クリーンセンター火災対応の完了 △3.1億円
- ▶ 待機児童の解消に向けた民間保育所整備補助事業費の増 +6.2億円
- ▶ 防災庁舎建設事業の進捗（最終年度）による増 +3.6億円

### (2) 歳入の特徴

- 市税 = 固定資産税家屋の増 (+2億3千万円)、固定資産税償却資産の増 (+1億9千万円)、などにより

473億7千万円 (+4億3千万円、+0.9%)

- 普通交付税 = 国の地方財政対策の動向を勘案し、2年ぶりに財源不足団体に転じる見込みであることから普通交付税を見込む

0.5億円 (皆増)

- 市債 = 建設事業のうち福増クリーンセンター第二工場基幹改良事業の完了などの減に伴う起債対象経費の減少により

49億8千万円 (△5億4千万円、△9.8%)

### (3) 歳出の特徴

- 扶助費 = 障害者自立支援給付費 (+2億9千万円)、生活保護扶助費 (+5千万円)、民間保育所運営費 (+1億円) などにより

249億4千万円 (+1億1千万円、+0.4%)

- 繰出金 = 国民健康保険事業特別会計繰出金 (+3億4千万円)、介護保険事業特別会計繰出金 (+7千万円)、後期高齢者医療事業特別会計関連負担金・繰出金 (+1億円)、下水道事業特別会計繰出金 (+9千万円) などにより

102億3千万円 (+6億円、+6.2%)

- 普通建設事業費 = 防災庁舎建設事業 (+3億5千万円)、民間保育所整備補助事業 (+6億2千万円)、福増クリーンセンター第二工場基幹改良事業 (△14億円)、消防庁舎耐震改修事業 (△5億2千万円) などにより、

93億9千万円 (△12億2千万円、△11.5%)

#### (4) 財源対策

- ・ 財政調整基金の取崩し 10億円 (△1億2千万円)  
取崩し額を前年度積立額以内に抑制しつつ、実行計画のスタートに向けた事業の財源を確保  
※年度末残高見込みを前年同時期の見込み額以上を確保  
(28年度末 (28年度予算編成時) : 42億円 → 29年度末 : 44億円)
- ・ 特定目的基金の活用 7億1千万円 (+8千万円)  
防災庁舎建設事業や公共施設老朽化への対応として、公共施設整備基金を活用するほか、満期一括償還で発行した市債の元金償還に充当するため市債管理基金を活用  
※公共施設整備基金3.0億円 (+0.7億円)、市債管理基金3.0億円など
- ・ 有利な財源を最大限活用 29億1千万円 (+2.6億円)  
県の市町村振興資金 (利率が無利子又は公的資金の2分の1) 1.0億円  
緊急防災・減災事業債(防災庁舎分) (充当率100%、後年度の元利償還金の7割を地方交付税で措置) 26.6億円

## 2. 予算の重点化と予算編成手法の見直し

- ・ 計画と一体となった予算編成  
総合計画の初年度となることから、総合計画における実行計画の策定と連動し、一体となった予算編成を実施
- ・ 重点施策による取り組み  
総合計画推進の原動力となる「ひとの活躍」を施策の中心に据え、次の3点を重点施策として財源を重点配分  
  
《重点施策》  
(1)市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策  
(2)ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策  
(3)ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策
- ・ 行財政改革の推進  
平成28年度に実施した「事務事業の総点検」の結果を踏まえた各事業の見直しや「市原市行財政改革大綱」に基づく各種取り組みの推進などを行うことで、スピード感を持った改革を予算編成に反映

# 1 市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策

新：新規事業 拡：拡充事業

## 重点事業

- ◇ 産業支援センター創設事業…………… 7 百万円 拡
  - ◇ 有害獣対策事業…………… 9 千 5 百万円
  - ◇ 子育てネウボラ事業…………… 1 千 3 百万円 新
  - ◇ 観光誘客推進事業…………… 8 百万円 拡
  - ◇ ゴルフの街いちはら事業 …………… 3 百万円 新
  - ◇ アートを活用した観光地づくり事業…………… 3 千 1 百万円
  - ◇ 英語教育推進事業…………… 9 千 1 百万円 拡
  - ◇ 教育の情報化推進事業…………… 1 億 5 千 6 百万円 拡
  - ◇ いちはら歴史のミュージアム整備事業…………… 3 千 6 百万円
  - ◇ 2020年東京オリンピック・パラリンピック等推進事業  
…………… 4 百万円 拡
  - ◇ ゼットエーボールパーク改修事業…………… 4 千万円 新
  - ◇ 市原スポレクパーク機能向上事業…………… 4 千 5 百万円 新
  - ◇ 担い手農業者育成事業…………… 4 百万円 新
  - ◇ 次世代農業推進事業…………… 1 千万円
- ※予算額の表示単位未満は四捨五入

# 2 ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策

新：新規事業 拡：拡充事業

## 重点事業

- ◇ 市民活動支援事業…………… 6 千 6 百万円 拡
  - ◇ 民間保育所整備事業…………… 6 億 1 千 9 百万円 新
  - ◇ 防犯ボックス事業…………… 8 百万円 新
  - ◇ 町会集会施設整備事業…………… 1 千 6 百万円
  - ◇ 放課後児童クラブ整備事業…………… 7 千 9 百万円 拡
  - ◇ 保育士宿舎借り上げ支援事業…………… 1 千 5 百万円 新
  - ◇ 病児保育事業…………… 5 千 1 百万円 拡
  - ◇ 市原力で輝く学校地域連携事業…………… 2 百万円 新
  - ◇ 上総いちはら国府祭り事業…………… 1 千 9 百万円
- ※予算額の表示単位未満は四捨五入

### 3 ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策

新：新規事業

拡：拡充事業

#### 重点事業

- ◇ 防災庁舎建設事業…………… 28億1千8百万円
- ◇ 防災庁舎建設事業（防災関連システム移設）…………… 3千万円 **新**
- ◇ 庁舎強靱化対策事業…………… 1千万円 **新**
- ◇ 救急医療対策事業…………… 3億6千3百万円 **拡**
- ◇ 消防関係車両整備事業…………… 2億6千万円
- ◇ 機械器具置場・詰所建築事業…………… 4千3百万円 **拡**
- ◇ 合併処理浄化槽普及事業…………… 6千8百万円 **拡**
- ◇ 橋りょう長寿命化事業…………… 4億7千2百万円
- ◇ 道路ストック事業…………… 1億4千5百万円
- ◇ 都市計画道路整備事業…………… 3億3千9百万円
- ◇ 市施行土地区画整理事業…………… 13億9千1百万円
- ◇ 松ヶ島終末処理場整備事業…………… 5億4千万円
- ◇ 古市場幹線整備事業…………… 1億5千3百万円
- ◇ 露原中央幹線整備事業…………… 1億9千万円
- ◇ 表流水系施設整備事業…………… 1億6千3百万円 **拡**
- ◇ 石綿セメント管更新事業…………… 2億5千9百万円 **拡**
- ◇ 小中学校非構造部材耐震化事業…………… 2千万円
- ◇ 市民会館大規模改修事業…………… 4百万円

※予算額の表示単位未満は四捨五入

### ★ 施策の実効性を高める3つの戦略

新：新規事業

拡：拡充事業

#### 重点事業

##### ◎ 都市創生戦略

- ◇ 公共資産マネジメント推進事業…………… 1千1百万円
- ◇ バス交通等地域対策協働事業…………… 1千5百万円 **拡**
- ◇ 立地適正化計画策定事業…………… 9百万円
- ◇ 都市マスタープラン策定事業…………… 5百万円
- ◇ 市街地整備計画策定事業…………… 1千万円 **新**

##### ◎ 広域連携戦略

- ◇ 合同企業説明会事業…………… 60万円 **新**
- ◇ 大学とのスポーツ連携事業…………… 30万円

◎ 自治体経営戦略

- ◇ 証明書コンビニ交付サービス事業…………… 2千2百万円 新
- ◇ 町会防犯街灯LED化事業  
（債務負担行為設定H29年～H40年 上限額 5億7千4百万円）新
- ◇ 県水道料金と市下水道使用料の徴収一元化事業 5千3百万円
- ◇ 総合計画推進事業…………… 6百万円 新
- ◇ 統計データ等活用推進事業…………… 2百万円 新
- ◇ 広報推進事業…………… 4千2百万円 拡
- ◇ 道路照明LED化事業  
（債務負担行為設定H29年～H39年 上限額 4億2千万円） 新

※予算額の表示単位未満は四捨五入